

令和5年安曇野市議会 12月定例会

討 論 発 言 通 告 書

令和5年12月25日

安 曇 野 市 議 会

| | | | | |
|-----|---|-----|---|------------------|
| 提出順 | 2 | 発言順 | 1 | 令和 5 年 12 月 20 日 |
| | | | | 午前・午後 11 時 5 分受領 |

(/ 枚中No. /)

2023年 12月20日

安曇野市議会議長 松枝 功 様

安曇野市議会議員 猪 狩 久美子

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

| | |
|--|--|
| 議会名 | 令和 5 年安曇野市議会 12月定例会 (第 回臨時会) |
| 議案番号等 | ■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第 106号 |
| 議案名等 | 安曇野市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 |
| 賛成・反対の別 | □賛 成 ・ ■反 対 |
| <p>討論内容 (具体的に記載してください)</p> <p>この条例改正は、令和6年秋から健康保険証が原則廃止されることに伴うもの。</p> <p>政府は、巨額の予算を使ってあの手この手でマイナンバーカードの普及を進め、マイナ保険証取得も躍起になって進めてきた。しかし、様々なトラブルが発生し、医療機関では対応に追われた。</p> <p>健康保険証の事実上の強制廃止には、医療・介護関係者、日本弁護士連合会、マスコミなどが反対の表明をしている。マイナ保険証の利用率はこの10月には4、49%と低い率になっている。国民の不信感が現れた数字ではないか。</p> <p>巨額な予算を投入してもトラブルが多発し、混乱を招くなどしてもなお、強制的に健康保険証廃止に固執する国の法律改正に伴う条例改正に反対する。</p> | |

| | | | | |
|-----|---|-----|---|-------------------|
| 提出順 | / | 発言順 | 2 | 令和5年12月20日 |
| | | | | (午前)午後 11 時 00分受領 |

(/枚中No./)

令和5年12月20日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 増田 望三郎

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

| | |
|---|---|
| 議会名 | 令和5年安曇野市議会 12月定例会 (第 回臨時会) |
| 議案番号等 | <input type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 議員提出 <input type="checkbox"/> 請願 <input checked="" type="checkbox"/> 陳情 <input type="checkbox"/> その他 第7号 |
| 議案名等 | 議員平等の原則に基づく安曇野市議会の運営と議会内人事の平等を求める陳情書 |
| 賛成・反対の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 賛成 ・ <input type="checkbox"/> 反対 |
| <p>討論内容 (具体的に記載してください)</p> <p>現在の人事において、何が不平等なのかを明確にしたい、賛成討論する...</p> | |

| | | | | |
|-----|---|-----|---|------------------|
| 提出順 | 3 | 発言順 | 3 | 令和 5 年 12 月 21 日 |
| | | | | 午前・午後 9 時 59 分受領 |

(/ 枚中No. /)

令和 5 年 12 月 21 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 林 孝彦

討 論 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

| | |
|---------|--|
| 議会名 | 令和 5 年安曇野市議会 12 月定例会 (第 回臨時会) |
| 議案番号等 | <input type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 議員提出 <input type="checkbox"/> 請願 <input checked="" type="checkbox"/> 陳情 <input type="checkbox"/> その他 第 11 号 |
| 議案名等 | 「『再審法(刑事訴訟法の再審規定)』の改正を求める意見書」の採択を求める陳情書 |
| 賛成・反対の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 賛 成 ・ <input type="checkbox"/> 反 対 |

討論内容 (具体的に記載してください)

えん罪被害者の迅速な救済を可能とすることが必要であり、証拠開示の制度化、検察官による不服申立ての禁止、手続規定の整備を求める陳情は当然のことであると考える。賛成する。